

令和2年4月24日

図書券で何を買いますか？

①大学受験を考えている人

・「赤本」(教学社・大学別過去問題集)

「赤本」は、受験生にとって、たいへん重要な教材です。早くから自分が志望する大学の過去問に取り組めば、「その大学の入試傾向はどのようなものか」、「自分が今、その大学を受験したら何点ぐらい取ることができるか」、「自分の苦手な部分はどこか(例えば、英語なら文法、長文読解など)」を認識した上で、その後の受験勉強に取り組むことができます。

73期生の皆さんの受験は、「2021年度入試」ということになります。「2021年度版」の各大学の「赤本」はまだ刊行されておらず、発売されるのは、これから先の予定です。

「赤本」を発売している「教学社」の「赤本ウェブサイト」を開いてみてください。右上に「大学名検索」という入力コーナーがあります。ここに、例えば「大阪経済大学」と入力します。すると、大阪経済大学の2021年度版赤本は「8月上旬発売で1980円」と記されています。早い時期に刊行されるものとして、例えば「京都産業大学」は5月下旬に刊行予定となっています(京都産業大学は「推薦入試」、「一般入試」に分けて刊行されるので注意)。

→2021年版「赤本」の発売が待てない人は？

おそらく、書店には2020年版の「赤本」は一部を除いて残っていないと思います。注文して手に入ればよいですが、すでに品切れになっているものが多いと思います。今すぐ手に入るならば、amazonなどの中古市場を探してみるという方法があります。今回の「図書券」を使うことはできませんが、「やろう」と思ったときに、すぐ行動することは大切です。まず、志望大学の赤本を中古で購入、さっそく過去問に取り組み、2021年度版の発売を待ちます。2021年度版が「過去3年分収録」ならば、卒業した72期生が受験した2020年度入試の問題、そして2019、2018年度の入試問題が掲載されています。中古の赤本を買うときには、それよりも前のものを購入するという方法もあります(2018年度版の赤本には2017年度以前の入試問題が載っている)。

②自分の将来の仕事や取り組もうとする学問に関連する本

「卒業したら、将来、就きたい仕事について学び、技術を習得するために専門学校に行く」と考えている人、あるいは「大学に進学して、興味を持っている学問を深めたい」と考えている人、「就職して、こんな職種で活躍したい」と考えている人。皆さんの描く将来像は様々です。この機会に、このような専門分野の本を購入して、自分の将来について考えを深めてはどうでしょうか。

例えば、大学に行って「経済学」を学んでみたいと考えている人。「経済学・本・基礎」と打ち込んで検索してみます。何冊かの本が紹介されているでしょう。

「美容師を目指す人が読む本」と打ち込めば、何冊かの本（専門的なものも含めて）が紹介されていることでしょう。

就職を目指す人は、「高卒・就職・問題集」と打ち込めば、「一般常識問題集」などの紹介がありますし、阪急電鉄で働きたいと思っている人なら、創業者小林一三の本に触れてみたり、「阪急沿線を楽しむ本」や「阪急沿線ディープな不思議発見」という本もあるようです。

「紀伊国屋」や「田村書店」には、在庫の有無を確認できるサイトがあるので利用してみてください。

③「本」という媒体に接する機会とする（「読書」を経験する）

皆さんの中には、例えば画像や音を通して文化や興味・関心のあるものと触れ合う人が多いのではないかと思います。例えば映画や YOU TUBE、音楽などです。

一方で本は、文字にしかない深みを味わう経験を提供してくれます。一つ一つの言葉に込められた作者の思いや意図を、読者はまたその人が持つ感性によって、受け止め、解釈していきます。例えば、作者によって文字で描かれた主人公の像を、どのようにイメージしていくかは、あなた自身に委ねられており、それが、読書の楽しみの一つではないかと思います。読書は、あなたの想像力、表現力、思考力などなど...を養う機会を与えてくれます。この機会に本を読む楽しさに触れてみてはどうでしょうか。